



「防災人間になろう」

大阪・東高で本紙部長が講演

防災の正しい知識を身につけてもらおうと、大阪市立東高校(同市都島区)で28日、防災教育推進協会理事で産経新聞大阪本社編集企画室の藤浦

淳企画担当部長が「防災人間になろう」と題して講演。写真、2年生の生徒ら約260人が震災時の対応を学んだ。来年1月に2年生が授業の

一環で東北地方を訪れるのを前に震災について学ぼうと同校が企画。藤浦部長は東日本大震災の被害状況を解説しながら、事前の「被害想定」を信じないよう訴えた。また多くの施設で石膏ボードなどをつり下げた「つり天井」が落下したことに触れ、

「建物に入ったらまず天井を確認して。意識していれば、揺れたらすぐに荷物や腕で頭を守ることができる」と強調した。講演を聞いた2年生の貞廣瞳奈さん(17)は「防災の視点で天井を見ることがなかった。これからは意識していきたい」と話していた。